

# 敗戦と戦後改革

\*1 連合軍の占領は、①が日本政府に命じて統治を行うという間接占領の方式がとられました。②が、沖縄は軍による直接統治が行われました。

\*2 ポツダム宣言の主な内容

- 1) 軍国主義の除去
- 2) 戦争犯罪人の処罰・民主主義の復活強化・自由と人権尊重
- 3) 平和的政府樹立・軍事占領・無条件降伏

\*3 五大改革指令の内容

- 1) 婦人の解放
- 2) 労働組合の奨励
- 3) 経済の民主化
- 4) 教育の自由主義化
- 5) 圧政的諸制度の撤廃

\*4 日本国憲法で天皇は「国民統合の象徴」とされました。

\*5 アメリカを中心とする資本主義(西側)陣営とソ連を中心とする共産主義(東側)陣営がヨーロッパや東アジアなどを舞台に激しく対立し続けたことを指します。

\*6 1950年ソ連や中国の支援を受けた北朝鮮が、韓国を攻撃、アメリカを主力とする西側と戦った戦争で、1953年休戦となります。

\*7 中国は招かれず、ソ連も調印を拒んだ「片面講和」でした。また沖縄は米軍の占領下に残されました。

\*8 日本国内の米軍基地の自由使用が認められました。

●無条件降伏を受けて、連合軍による占領が始まります。\*1

連合軍最高司令官総司令部(①)が設置され、②元帥のもとで、ポツダム宣言\*2にもとづき、民主化を目標に改革を進めます。(戦後改革)

●1946年9月戦争指導者を戦争犯罪人とする③が開かれ、48年11月東条英機らに死刑判決が下されました。

●1945年10月、②は口頭で幣原喜重郎首相に、④\*3を指示しました。

これにともない、女性に⑤権が与えられ、1945年の⑥法にはじまる労働三法も整備され、労働運動が高まりました。

●1947年には、教育の機会均等を規定した⑦法が制定されます。⑧法と特別高等警察も廃止されました。

経済の民主化には、寄生地主のもつ土地を取り上げて小作人に解放する⑨と財閥家族や持株会社を解体する⑩の2つがあります。しかし⑩は、冷戦が激化する中、不十分に終わりました。

●1946年元旦、天皇は⑪で自らの神格を否定しました。\*4

1946年11月⑫が公布され、翌年5月施行されます。憲法は、⑬、⑭、基本的人権の尊重を三大特徴としています。

●東西冷戦の高まりの中\*5、占領軍の政策は西側の一員としての経済復興と政治的安定が重視されるようになります。

●朝鮮戦争\*6中の1951年、日本は⑮条約で独立を達成しました。\*7同時に⑯条約を締結\*8、西側陣営の一環として位置づけられるようになります。